

第7回安芸高田市学校給食検討会議の概要報告

日時 平成19年3月14日 14:00～16:30
場所 安芸高田市教育委員会 会議室

□ 給食調理施設の整備について

■ 視点（事務局提示）

【視点1】文部科学省の「学校給食衛生管理の基準」によると、

＜学校給食施設について＞

教育委員会等は、随時施設の点検を行い、その実態の把握に努めるとともに整備を図ることが必要な事項及び早急に計画を策定し改善を図ることが必要な事項に留意し、施設の新築、改築、改修、修理等の措置を講じること。なお、施設の新築等に当たっては、「望ましい施設設備の配置例」を参考にしながら、設計段階において保健所又は学校薬剤師等の助言を受けるとともに、栄養教諭等その他の関係者の意見を十分取り入れ、整備すること。

＜学校給食設備について＞

教育委員会等は、随時設備の点検を行い、その実態の把握に努めるとともに、必要な事項に留意し、早急に設備の整備、改善、更新、修理等の措置を講じること。

【視点2】費用対効果について考える。

【視点3】衛生管理の面から、管理一元化について考える。

【視点4】配送について考える。

【視点5】既存施設における「学校給食衛生管理の基準」の運用上、必要な改善について考える。

■ 検討に当たっての提示資料（事前配付）

- ① 「学校給食と食生活に関するアンケート調査報告」 —再確認—
- ② 第1回～第5回検討会議の概要報告 —再確認—
- ③ 広島県内市町における学校給食施設の概略
—中学校完全給食の動向、センター方式の設置状況—
- ④ 全体事業費概算（10年間） —再確認—
- ⑤ 給食センター配送計画表〔想定〕 —見直したものを再提示—
- ⑥ 学校給食調理施設の調査報告（八千代学校給食センター・美土里学校給食調理場）
—現状と改善点—

□ 検討内容の総括

■ 現状と課題

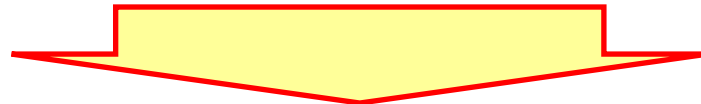
- 給食提供内容の不均衡
- 調理施設の老朽化

■ 学校給食の基本方針

- 中学校における完全給食の実施
- 学校における食育の実践の検証と市内全体へと効果を広げる
- 学校給食の管理と食に関する指導を一体的に展開する栄養教諭の配置を求める
- 地産地消システムの創造（組織体制づくり）

■ 学校調理施設整備

- 施設整備について検討した結果、市内1箇所、3,000食提供可能な学校給食共同調理場を新設



<検討会議のまとめに含める事項>

- 市内全調理施設・設備の老朽化等に伴う改善内容を整理しておくこと。
 - 学校給食の意義や目標に関する理解や協力を促すことが大切であること。
 - 安全で安心でおいしい（児童・生徒の好感度が高い）現在の給食内容を維持できる体制とチェック機能を求めること。
 - 食器、アレルギー対応やその他学校における環境整備などについて、具体的に研究・検討を進めていくことを求めること。
 - 学校給食の適正かつ健全な運営のために、受益者負担にかかる周知や協力を求めていくこと。
- ◎ 検討会議のまとめについては、事務局と指名された三名の委員により編集作業を委任し、全委員に提示の上、必要な修正等を行う。期限としては、3月臨時教育委員会会議への提出に間に合わせる。